



Creating Solutions Together

2023年3月期決算

2023年5月12日

CKD株式会社

証券コード6407

目次

2023年3月期決算

- 決算概要
- 投資
- 株主還元
- 中期経営計画「Exciting CKD 2025」取組み状況
- 「パーパス」と「ブランドスローガン」

決算概要

- 前期対比 増収増益
 - 売上高 + 12%増収
 - 営業利益 + 18%増益



経営成績

(単位：億円)

		22/3月期 実績	23/3月期 実績	前期比	
				増減額	増減率
売上高	全 体	1,422	1,595	+ 173	+ 12%
	自動機械	168	156	▲ 12	▲ 7%
	機 器	1,254	1,439	+ 185	+ 15%
営業利益 (営業利益率)		179 (12.6%)	212 (13.3%)	+ 33	+ 18%
経常利益		180	212	+ 31	+ 17%
当期純利益		126	148	+ 22	+ 18%

財政状態

(単位：億円)

	2022年3月末	2023年3月末	前期末比	
			増減額	増減率
流動資産	1,162	1,231	+ 69	+ 6%
固定資産	563	626	+ 62	+ 11%
資産合計	1,725	1,856	+ 131	+ 8%

流動負債	535	520	▲ 15	▲ 3%
固定負債	94	139	+ 44	+ 47%
負債合計	629	659	+ 30	+ 5%

純資産	1,096	1,197	+ 102	+ 9%
-----	-------	-------	-------	------

自己資本比率	63.5%	64.5%	-	+ 1.0%
--------	-------	-------	---	--------

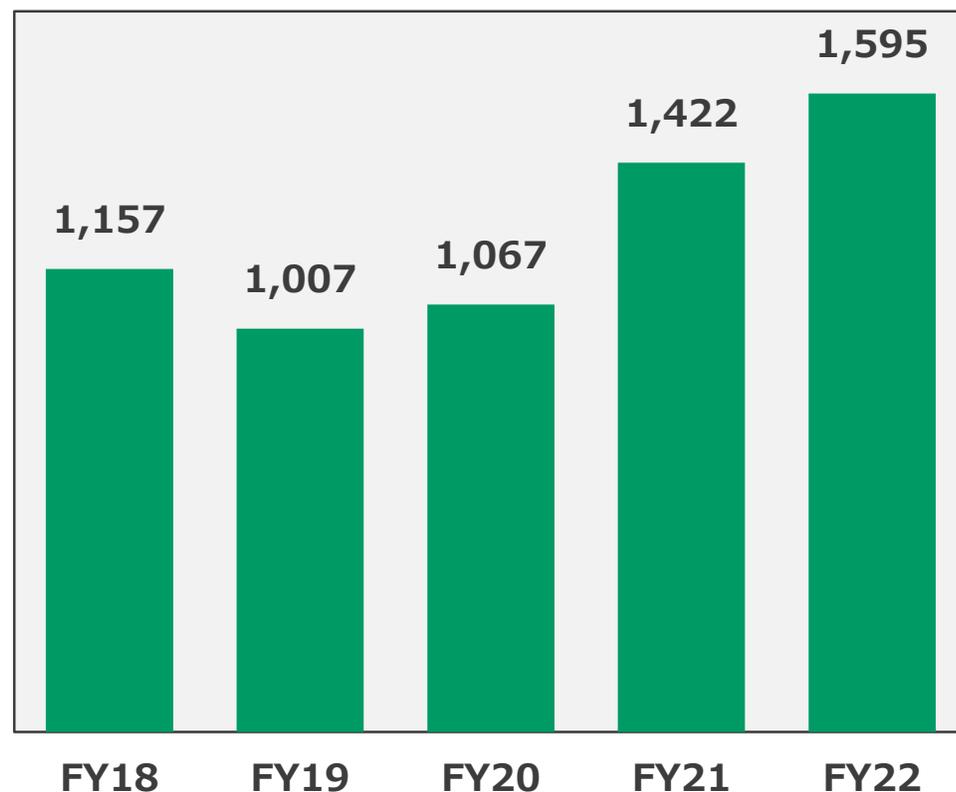
全社 業績推移

FY22	売上高	営業利益	営業利益率
通期実績	1,595億円 (+173)	212億円 (+33)	13.3% (+0.7)

() は前期比

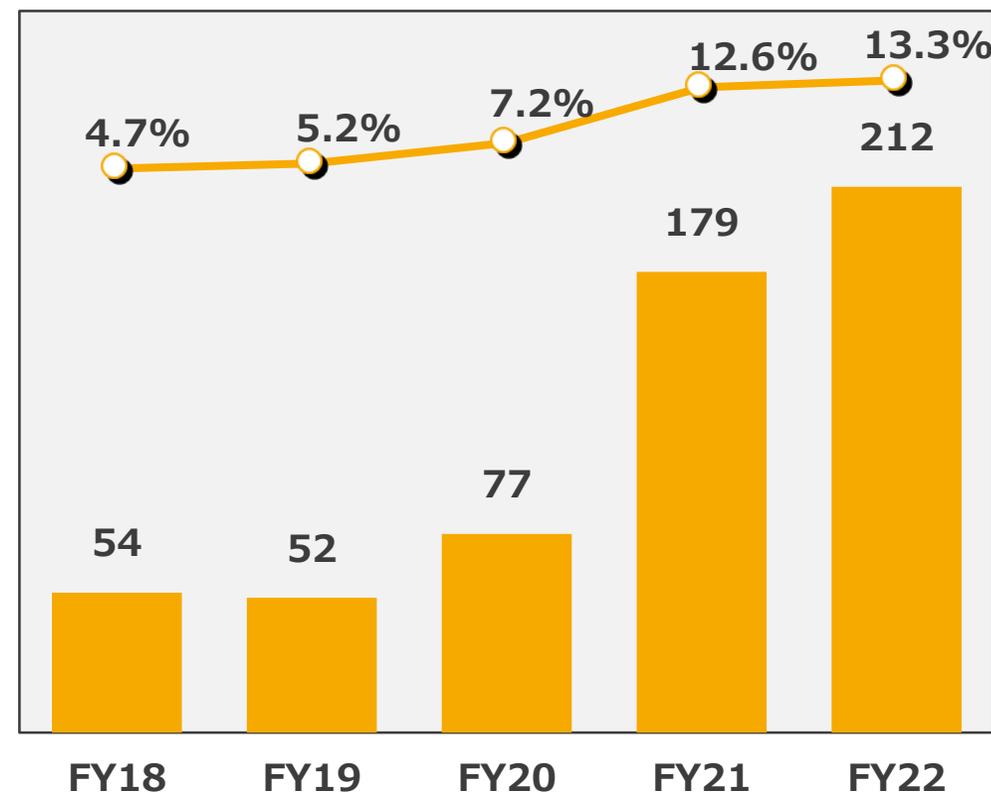
(単位：億円)

売上高



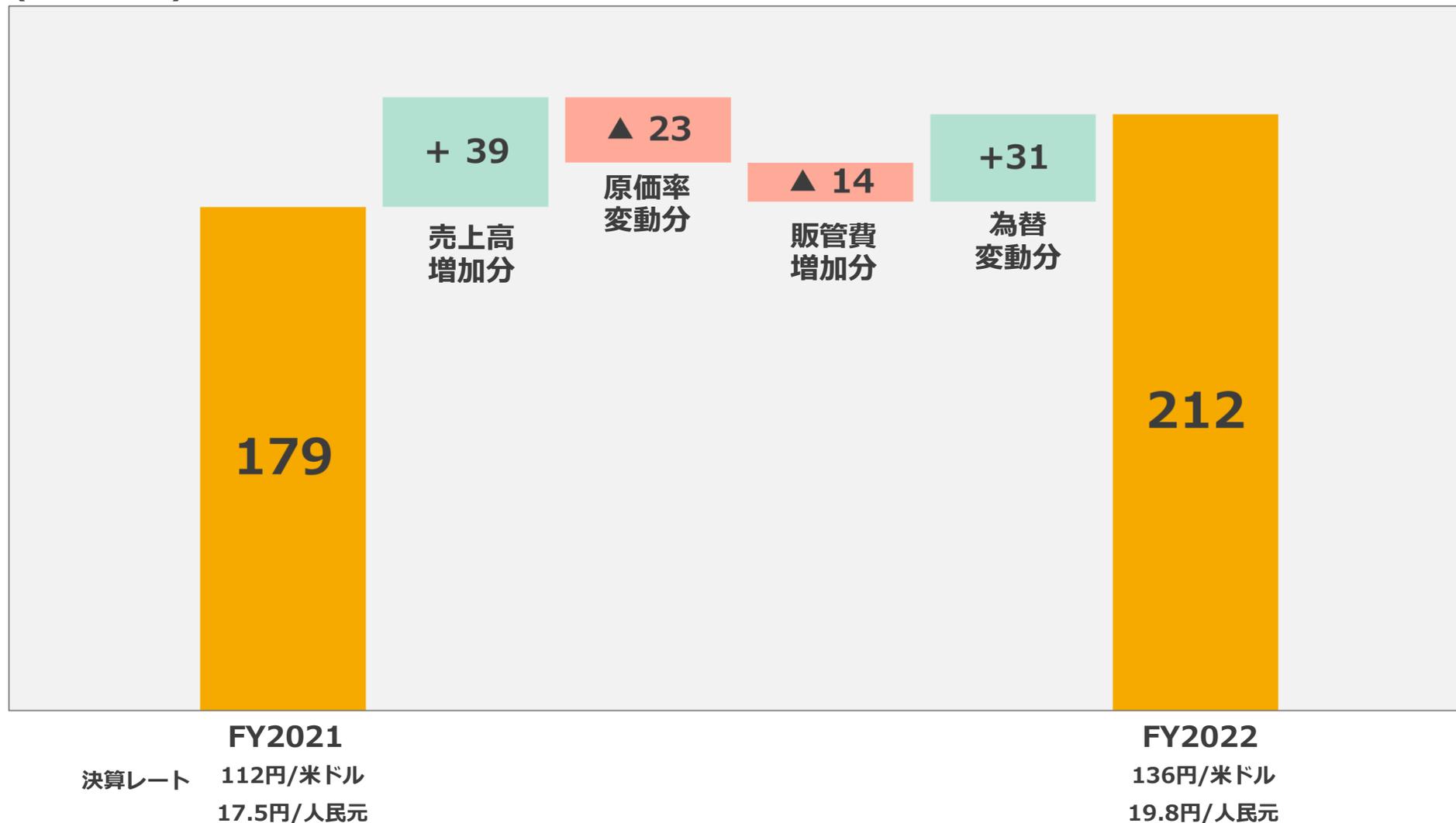
(単位：億円)

営業利益・営業利益率



営業利益変化要因

(単位：億円)

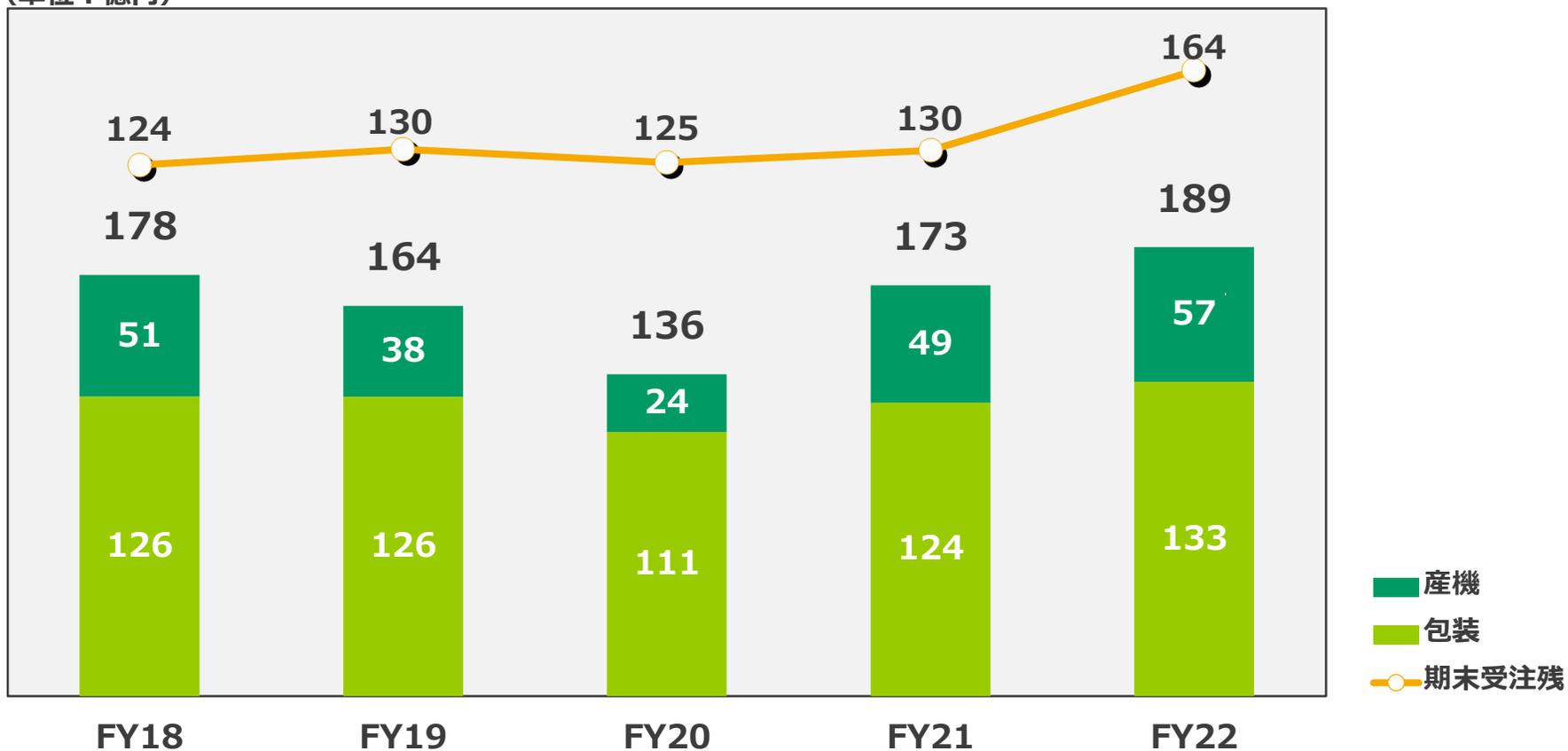


自動機械 受注実績

FY22	受注高
通期実績	189億円 (+16)

() は前期比

(単位：億円)

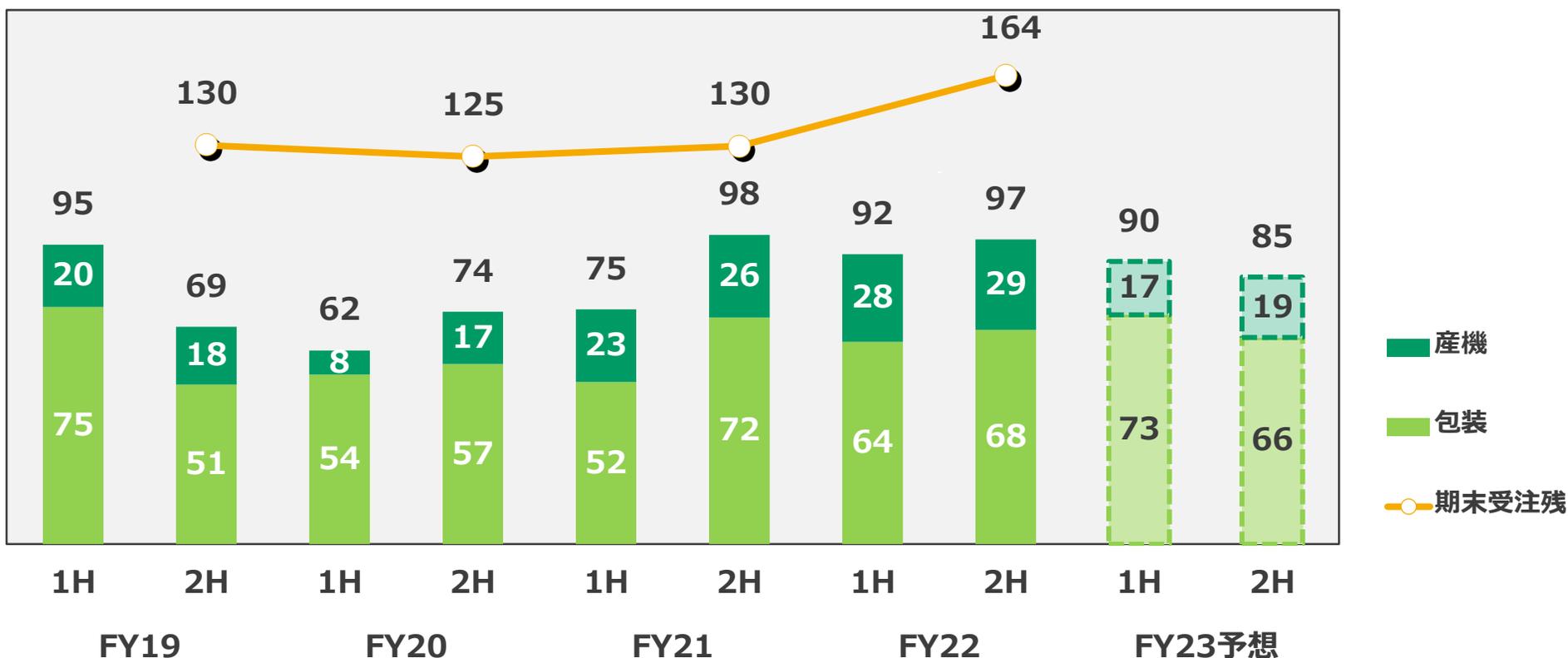


自動機械 受注予想

FY23	受注高
上期予想	90億円 (▲2)
通期予想	175億円 (▲14)

() は前年同期比

(単位：億円)

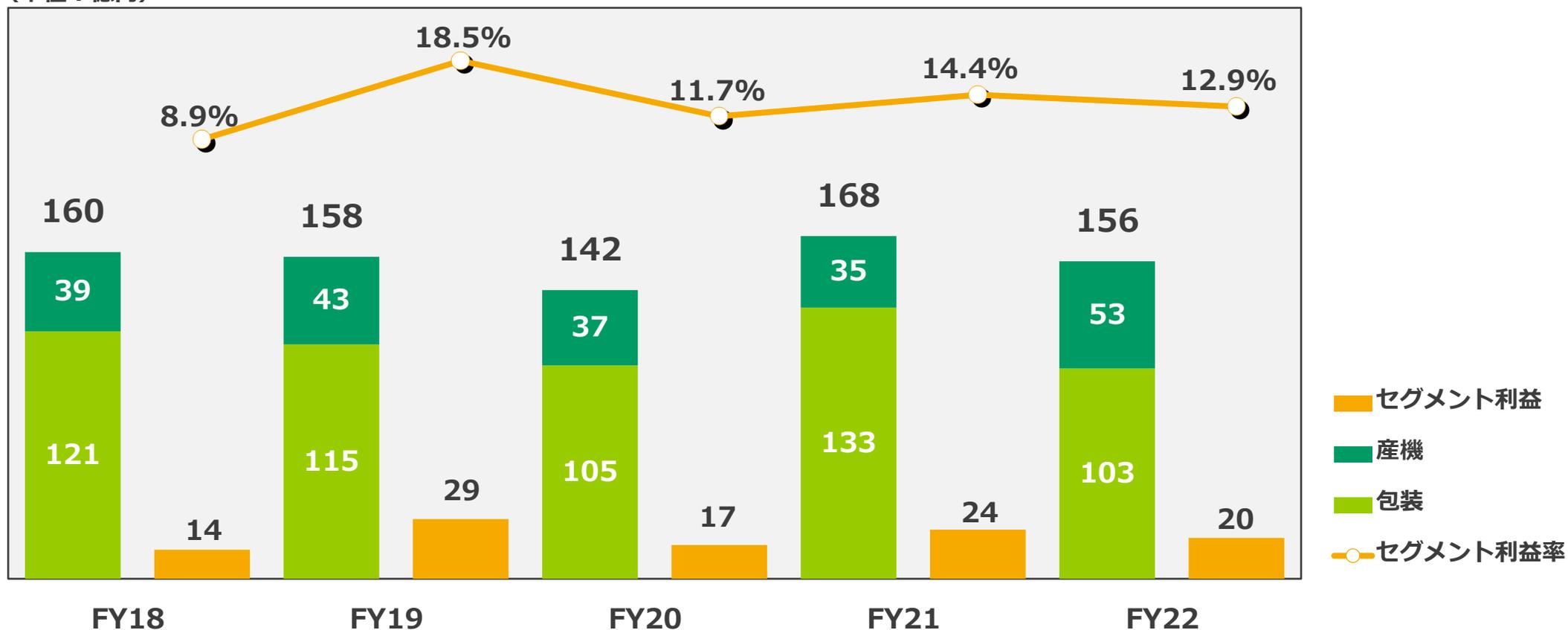


自動機械 業績推移

FY22	売上高	セグメント利益	セグメント利益率
通期実績	156億円 (▲12)	20億円 (▲4)	12.9% (▲1.5)

() は前期比

(単位：億円)

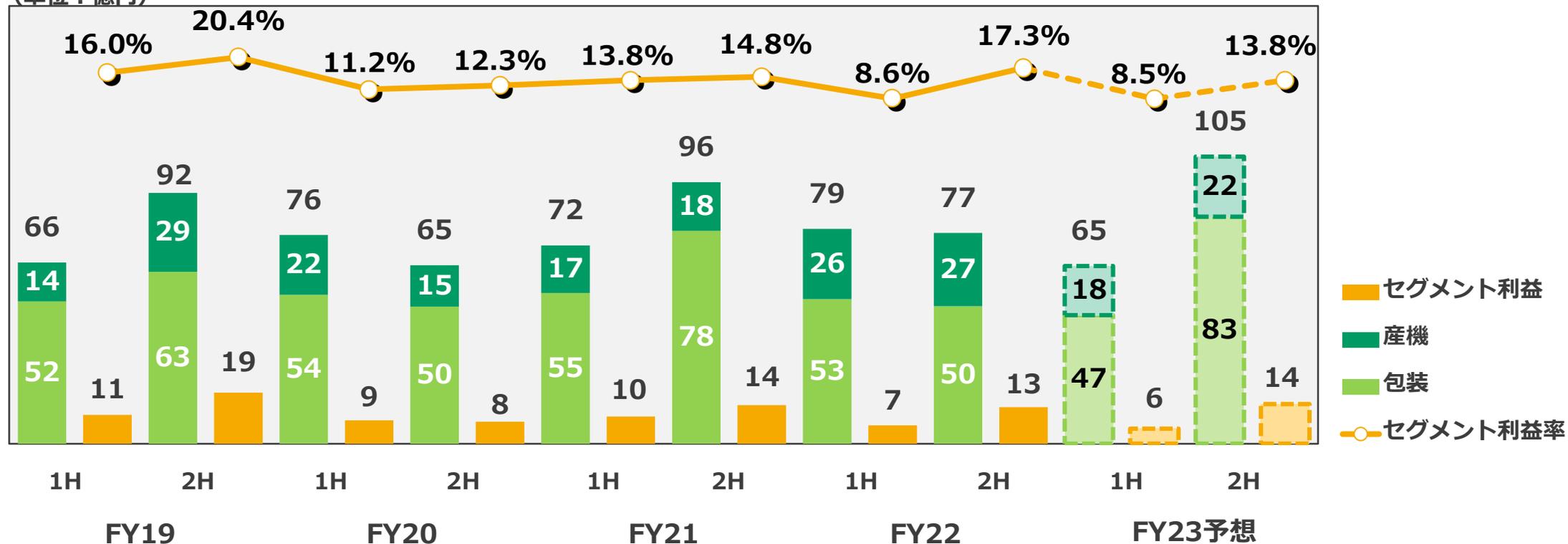


自動機械 業績予想

FY23	売上高	セグメント利益	セグメント利益率
上期予想	65億円 (▲14)	6億円 (▲1)	8.5% (▲0.1)
通期予想	170億円 (+14)	20億円 (▲0)	11.8% (▲1.1)

() は前年同期比

(単位：億円)

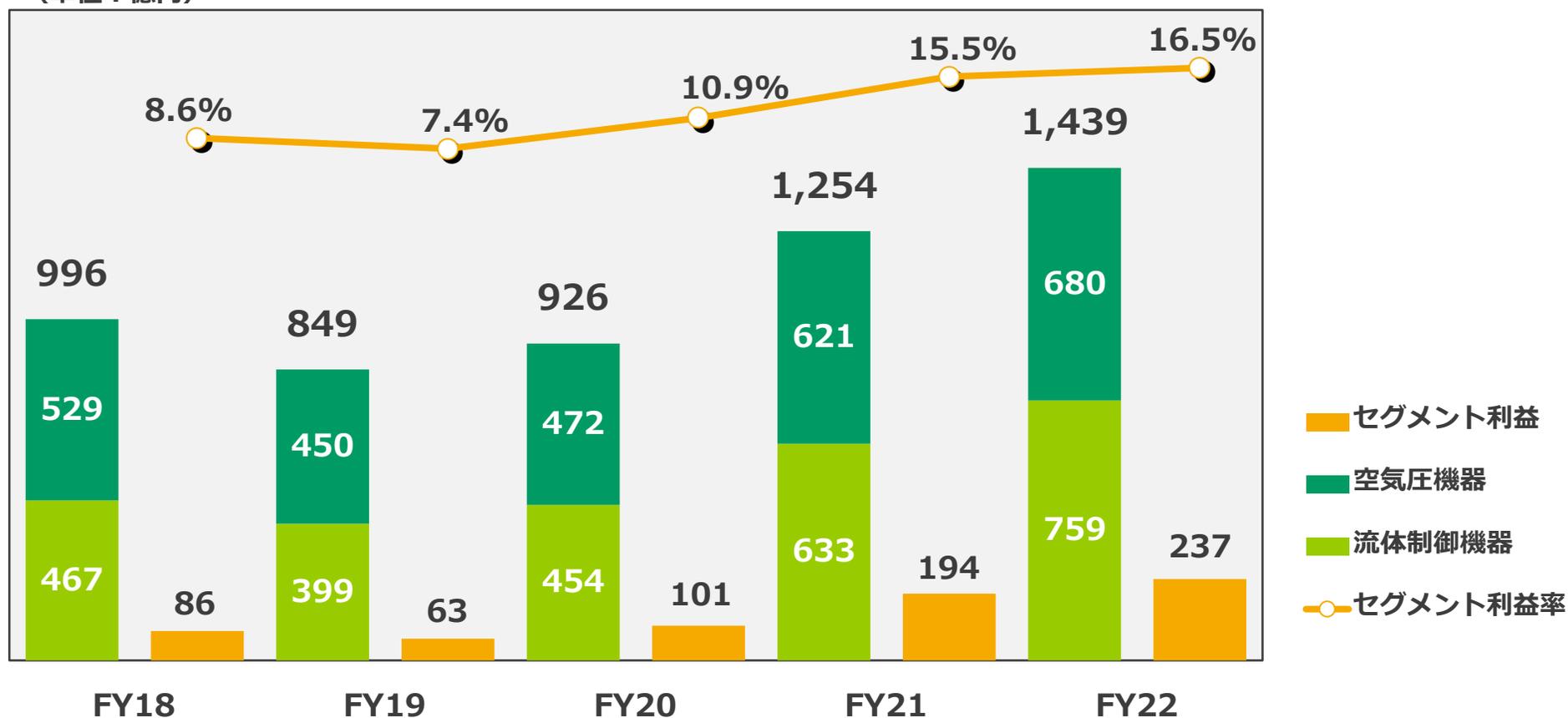


機器 業績推移

FY22	売上高	セグメント利益	セグメント利益率
通期実績	1,439億円 (+185)	237億円 (+43)	16.5% (+1.0)

() は前期比

(単位：億円)



2023年3月期 機器 市場別実績

※前年通期実績比

(単位：%)

国内主要業種別	上期実績	下期実績	通期実績
半導体	116	114	115
自動車	100	104	102
工作機	99	94	96
医療・医薬	102	103	102
FPD	103	78	91
二次電池	120	127	124
国内主要業種合計	112	111	111

海外主要地域別	上期実績 (134円/ドル)	下期実績 (139円/ドル)	通期実績 (136円/ドル)
東アジア	128	128	128
東南アジア	126	119	123
海外合計（欧米含）	126	125	125

2024年3月期 機器 市場別予想

※前年通期実績比

(単位：%)

国内主要業種別	上期予想	下期予想	通期予想
半導体			
自動車			
工作機			
医療・医薬			
FPD			
二次電池			
国内主要業種合計			

海外主要地域別	上期予想 (130円/ドル)	下期予想 (130円/ドル)	通期予想 (130円/ドル)
東アジア			
東南アジア			
海外合計（欧米含）			

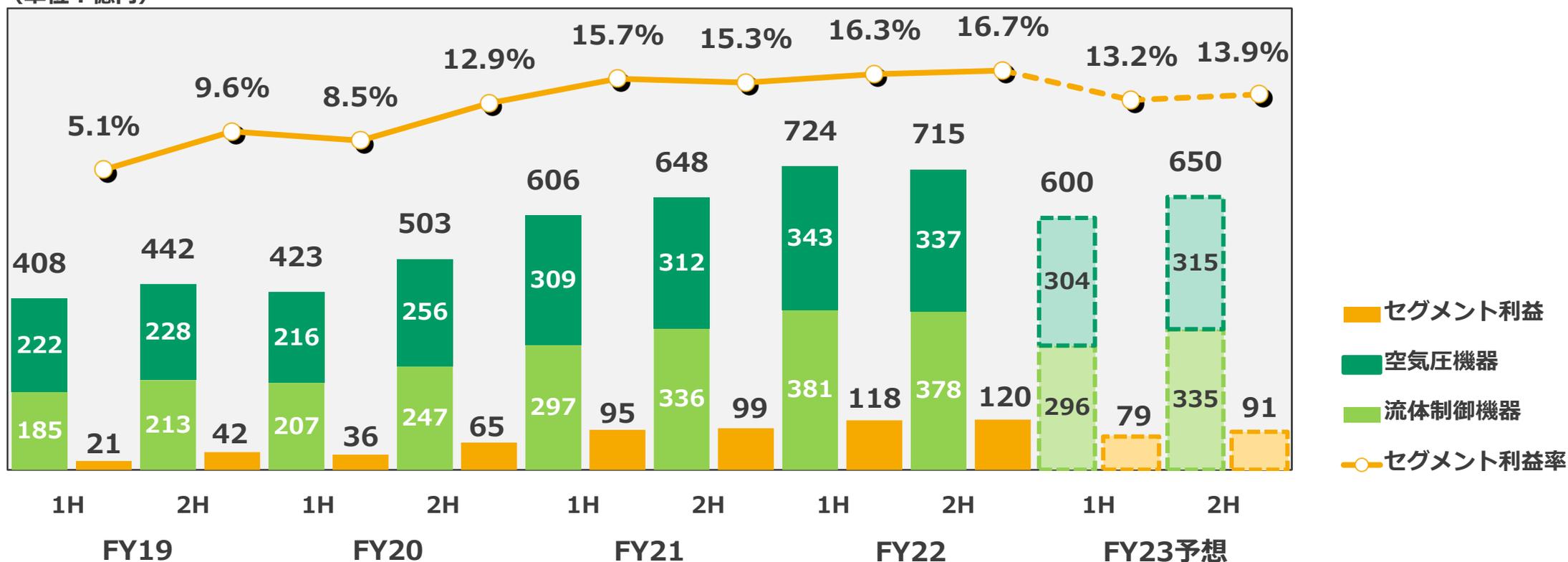
前年通期実績比：( 110～  100～109  90～99  80～89  ～79)

機器 業績予想

FY23	売上高	セグメント利益	セグメント利益率
上期予想	600億円 (▲124)	79億円 (▲38)	13.2% (▲3.1)
通期予想	1,250億円 (▲189)	170億円 (▲67)	13.6% (▲2.9)

() は前年同期比

(単位：億円)

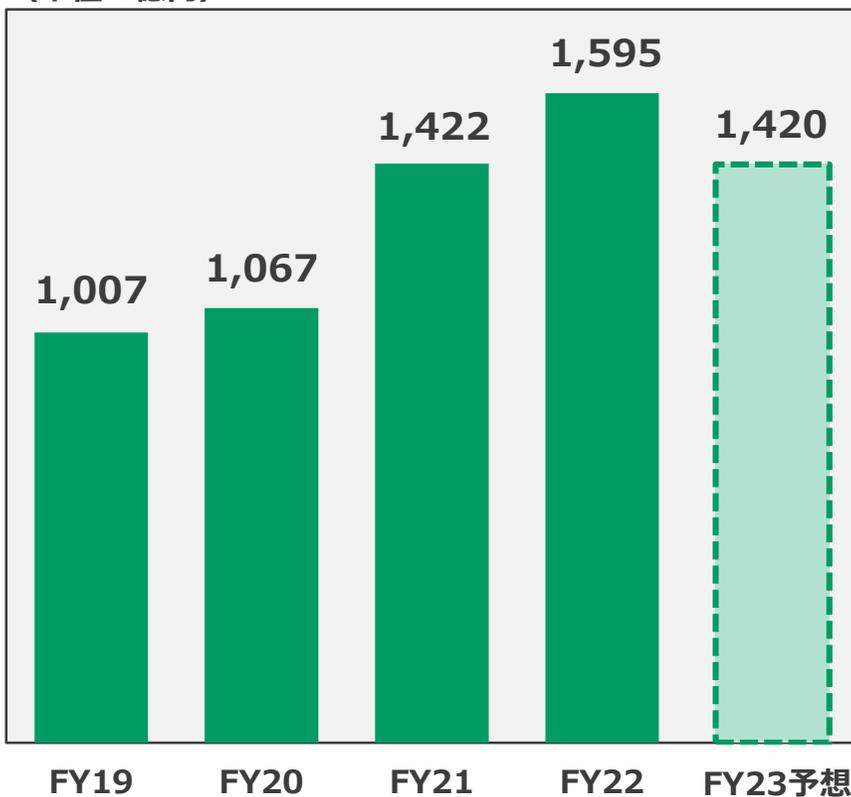


全社 業績予想

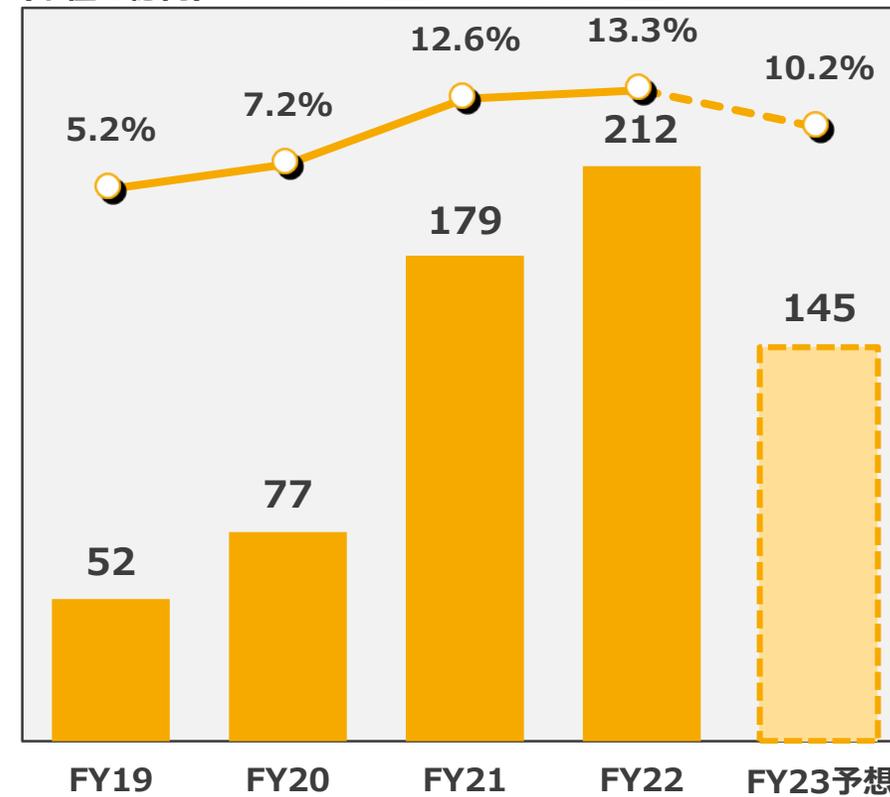
FY23	売上高	営業利益	営業利益率
通期予想	1,420億円 (▲175)	145億円 (▲67)	10.2% (▲3.1)

() は前期比

(単位：億円) 売上高



(単位：億円) 営業利益・営業利益率



全社 業績予想

(単位：億円)

	23/3月期 実績	24/3月期業績予想				
		上期予想	下期予想	通期予想	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高 全体	1,595	665	755	1,420	▲ 175	▲ 11%
自動機械	156	65	105	170	+ 14	+ 9%
機 器	1,439	600	650	1,250	▲ 189	▲ 13%
営業利益 (営業利益率)	212 (13.3%)	63 (9.5%)	82 (10.8%)	145 (10.2%)	▲ 67	▲ 32%
自動機械 (セグメント利益率)	20 (12.9%)	6 (8.5%)	14 (13.8%)	20 (11.8%)	▲ 0	▲ 0%
機 器 (セグメント利益率)	237 (16.5%)	79 (13.2%)	91 (13.9%)	170 (13.6%)	▲ 67	▲ 28%
経常利益	212	63	82	145	▲ 67	▲ 32%
当期純利益	148	43	57	100	▲ 48	▲ 32%

※想定為替レート：130円/米ドル

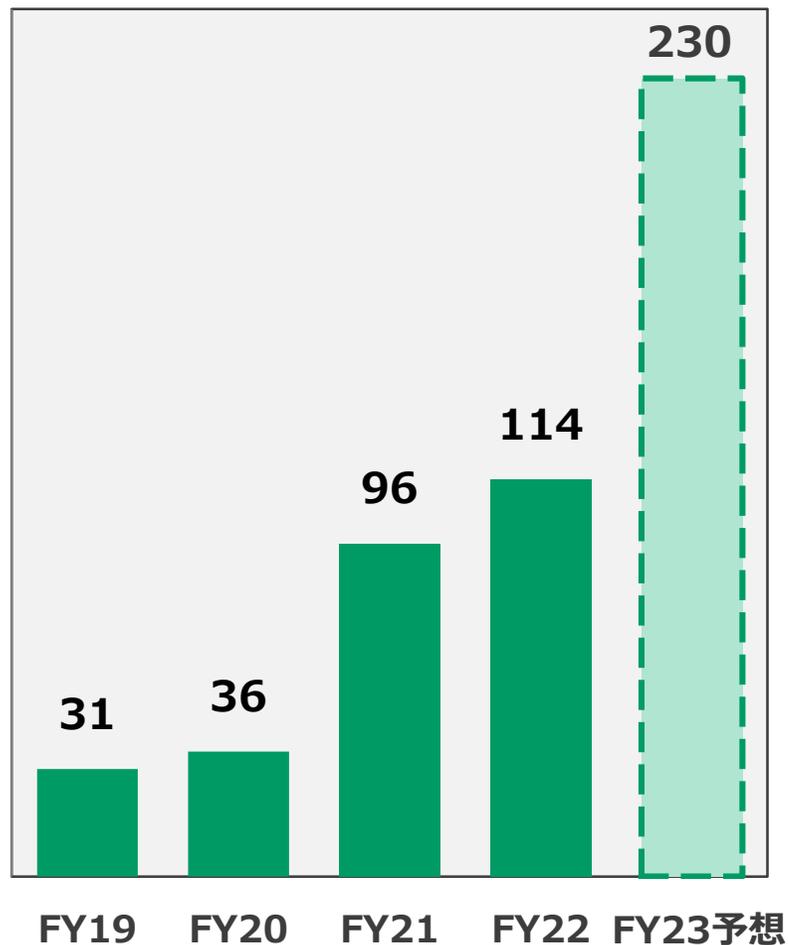
投資



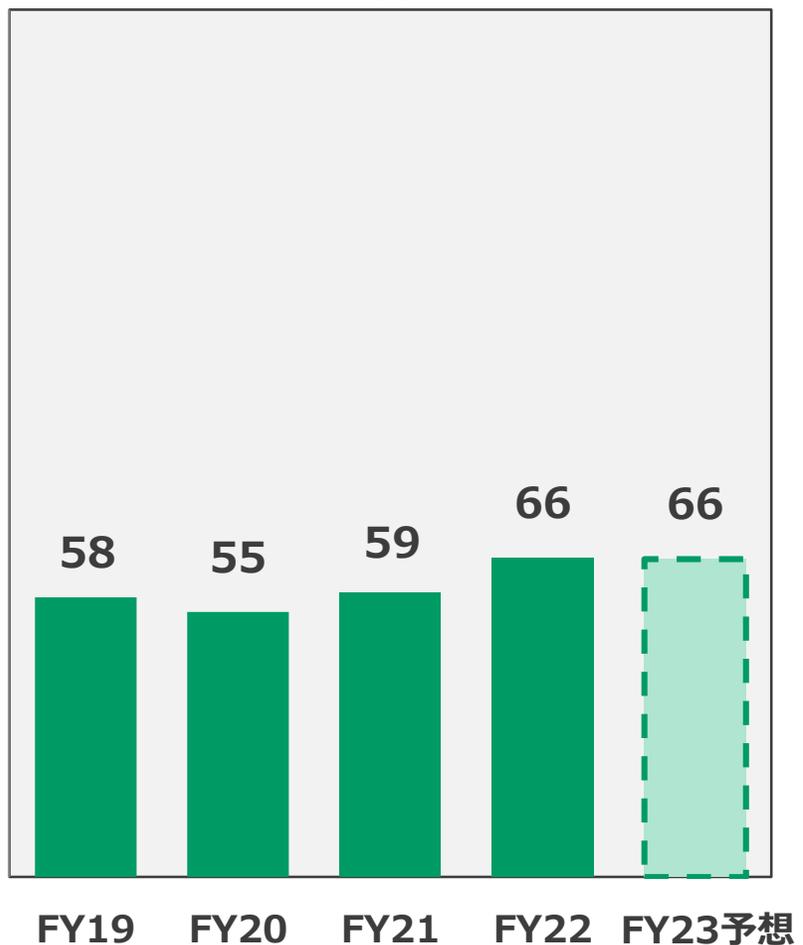
投資

(単位：億円)

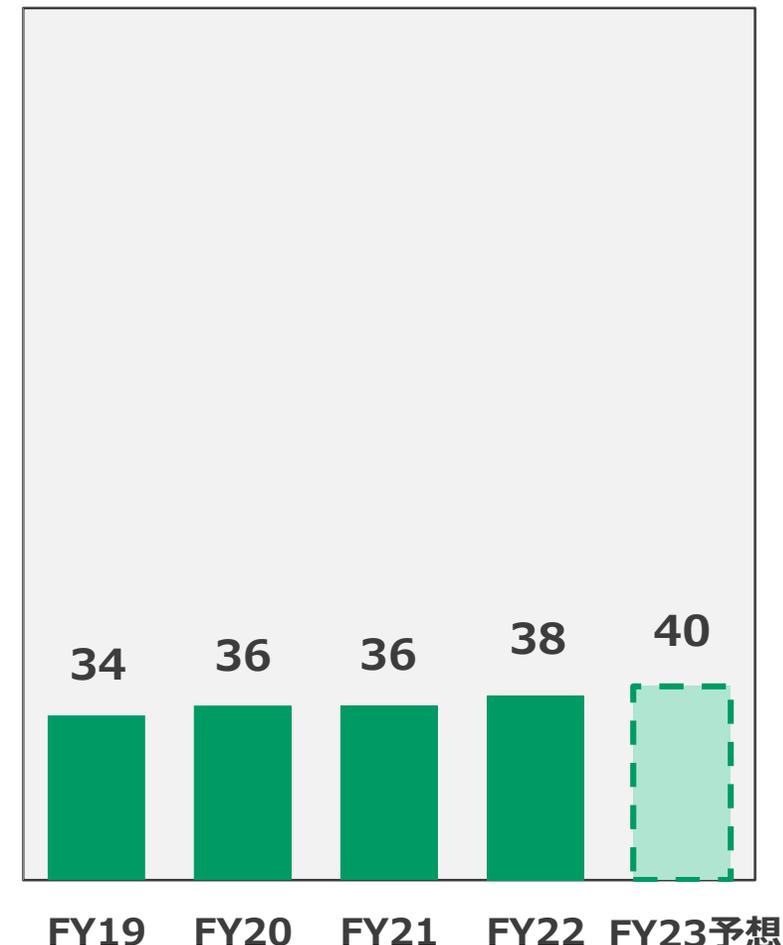
設備投資



減価償却



研究開発投資



株主還元

■ 配当

- ・ 2023年3月期期末配当は 47円

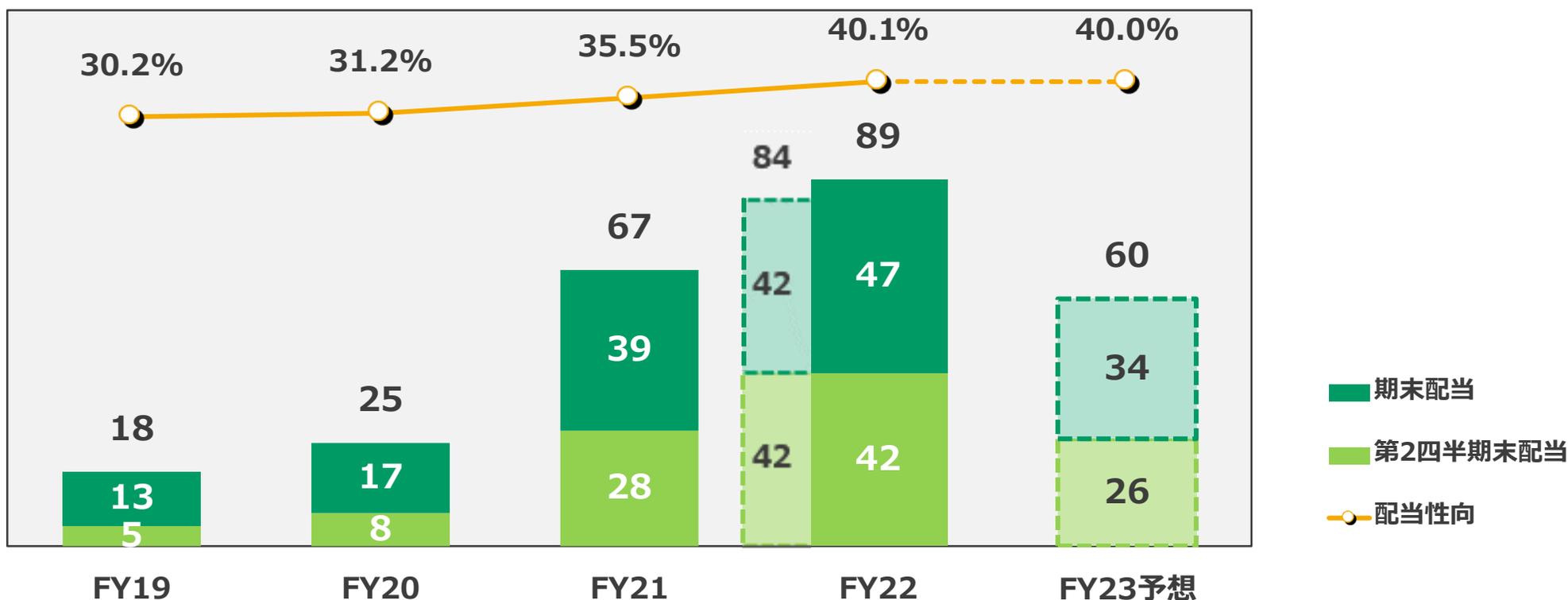


配当

2023年3月期配当
 期末配当 1株につき47円
 配当金総額 31億36百万円

2024年3月期配当予想
 第2四半期末配当 1株につき26円
 期末配当 1株につき34円

(単位：円)



中期経営計画「Exciting CKD 2025」取組み状況

- 注力する 産業・事業・地域
- 成長への投資
- 持続的成長を支えるESG



注力する産業 半導体

進化を続ける半導体製造プロセスへの対応と需要増加に向けた生産能力の増強

半導体市場

IoT/AI/5G
データセンター
自動走行・産業用電子機器



ロジック（制御）

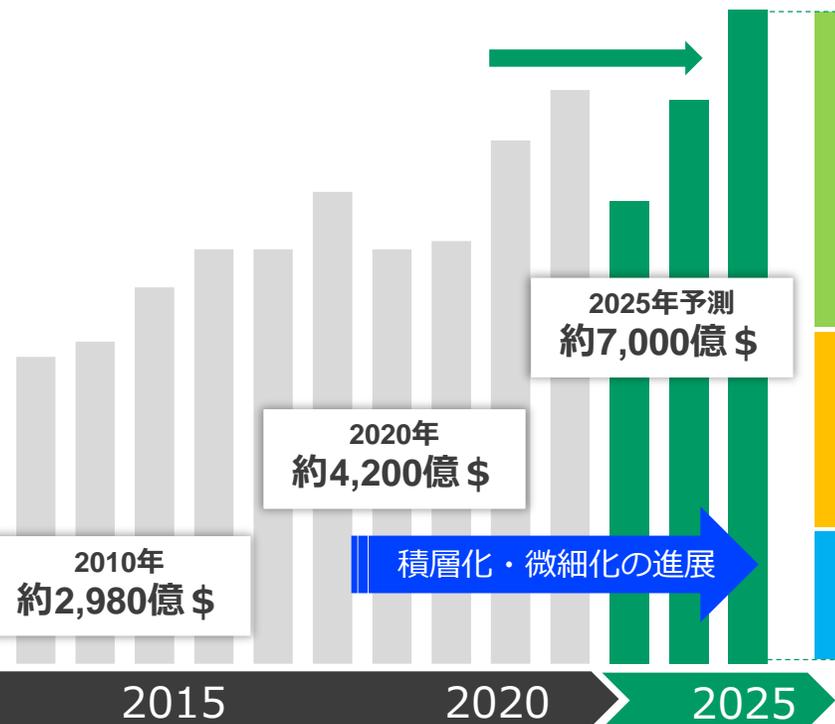
CPU（プロセッサ）
GPU（画像描写）
SoC（集積回路）

メモリ（記憶）

DRAM（揮発性）
NAND（不揮発性）

その他

パワー半導体
対応LSI
イメージセンサ（CMOS）
など



※当社まとめ
※グラフはイメージです

最先端プロセスにおける技術課題への対応促進

- ・ 専任の営業・技術によるソリューション提案
- ・ 最先端プロセス対応機器の開発・採用



グローバルフォロー体制の進展

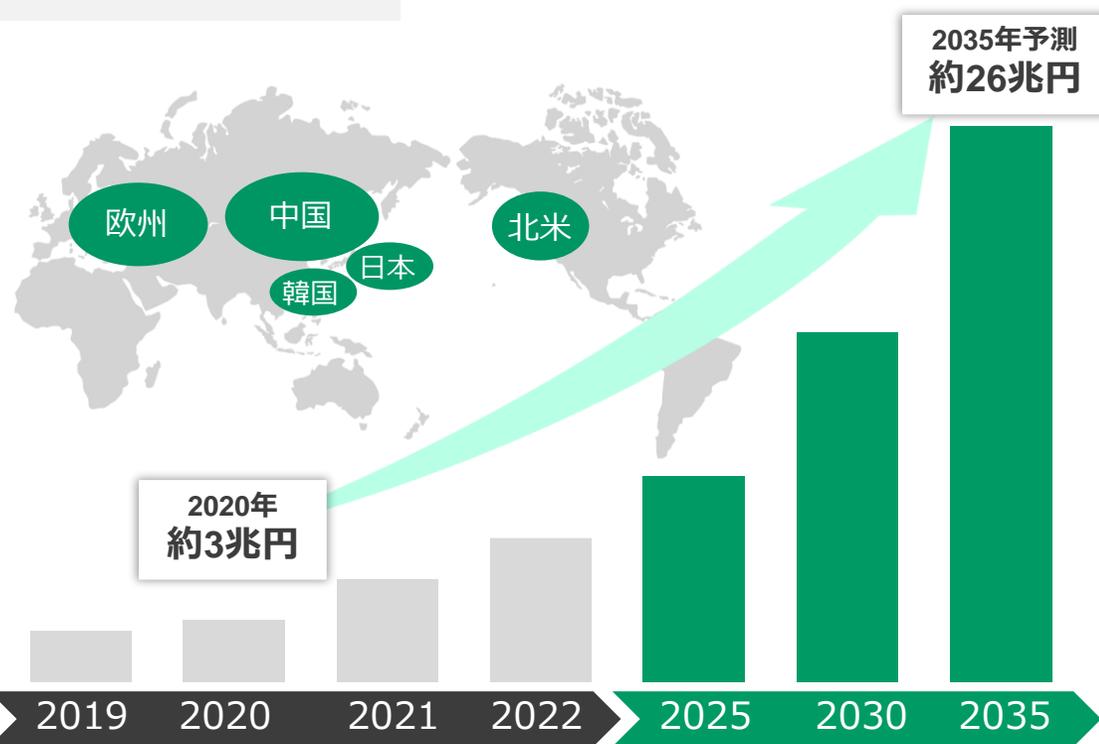


注力する産業 電池

成長する電池産業において生産性向上と安定稼働の製造ニーズに対応



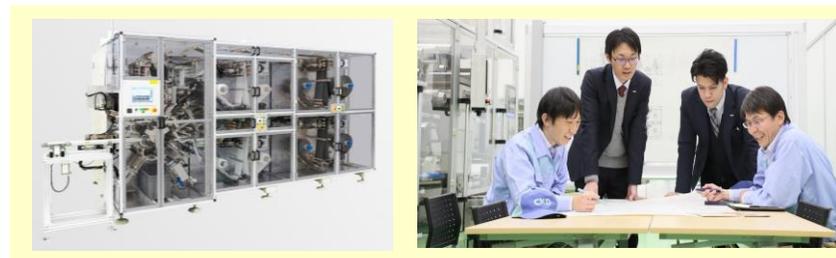
EV用二次電池市場



※当社まとめ
※グラフはイメージです

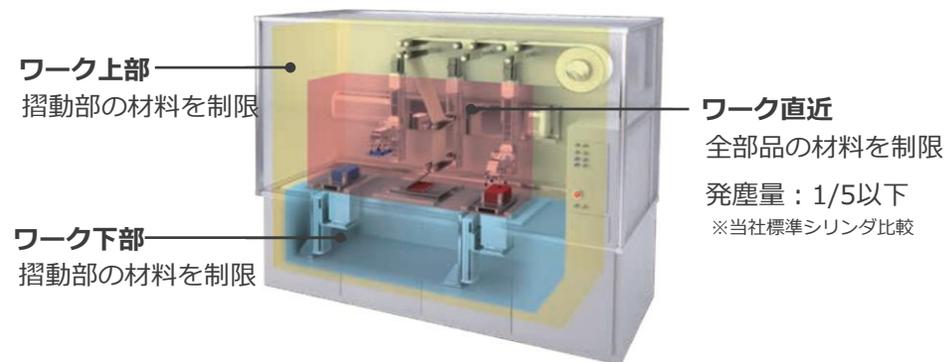
リチウムイオン電池用巻回機

- ・ 需要の拡大に対応し、超高速巻回機で生産性向上に貢献



二次電池製造工程向け機器

- ・ 100機種を超える商品群で、装置ごとの製造環境に対応
- ・ 長寿命機器で設備の安定稼働に貢献



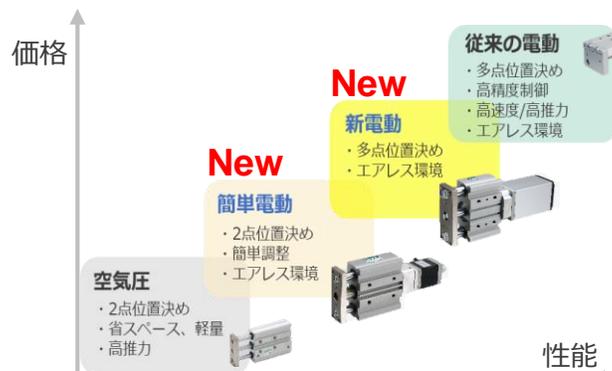
注力する事業 電動事業

「空気圧機器」「電動機器」「ソフトウェア」を組み合わせたソリューションの提供



電動商品バリエーション拡充

・簡単電動・新電動 14機種発売



空気圧機器の特長を継承
簡単調整・高剛性

エアレス環境への対応可能

・耐環境 4シリーズをフルラインナップ

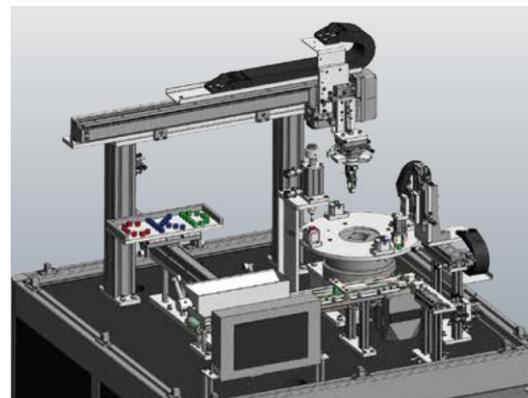


使用環境の多様化に対応

- 粉塵
- 低発塵
- 二次電池製造工程
- 食品製造工程

空気圧と電動の両輪でベストミックスなご提案

・各製造工程で使い分け



- ハンドリング
- 搬送
- クランプ
- 圧入
- オシレート



・ソフトウェア商品とも組み合わせが可能



注力する事業 新事業

DXを活用したサービスビジネスの展開・環境負荷低減型商品で新たな価値を創出



サービスビジネス

① Remote Solution

遠隔サポートで生産性向上に貢献



② ビジュアルプログラミングツール

専門知識不要で機器制御システムを構築
直観的な操作で簡単プログラミング



ExiaStudio エクシアスタジオ



環境負荷低減型商品の開発

・バイオマスプラスチック PTP包装の実用化

CO2排出量を従来比で約50%削減
業界を超え3社が協力して開発に取り組み、
日本オープンイノベーション大賞「環境大臣賞」を受賞



薬品包装機

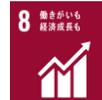


PTP包装



注力する地域 海外市場

米国・欧州・インド・ASEANへの対応を強化



欧州：販売基盤整備

2022年7月
CKD Italia S. R. Lへ社名変更完了



中国：現地生産体制整備



米国：半導体ビジネス拡大

2022年10月
CKD USA
Austin Manufacturing
稼働開始



完成イメージ

インド：生産拠点建設

2023年度稼働予定



タイ：基盤強化

汎用流体制御機器の生産移管



マレーシア：事業拡大

新工場設立



注力する地域 海外市場

ASEAN地域の需要拡大を見据え機器商品の新拠点をマレーシアに設立



敷地面積 : 約87,400 m²

建屋面積 : 約15,800 m²



不動産取得時期 : 2023年5月 (現地管轄官庁の承認後)

総投資額 : 約40億円

稼働開始予定 : 2024年末

所在地 : Lot H.S (D) 70252, PT 2489, Jalan Hi-Tech 11,
Industrial Zone Phase 3, Kulim Hi-Tech Park,
09000 Kulim, Kedah, Malaysia

成長への投資

創出したキャッシュを活用し、成長投資・基盤強化を前倒しで実施中

重点領域

成長投資

戦略投資

国内投資：半導体や二次電池業界、電動機器の生産能力増強
海外投資：欧米・インドの生産立上げと能力増強

事業拡大に向けたアライアンス・M&A、新事業、事業構造転換

基盤強化

- ・人的投資
- ・DX投資
- ・環境投資
- ・生産性向上投資

開発力の強化、次世代・デジタル・グローバル人材

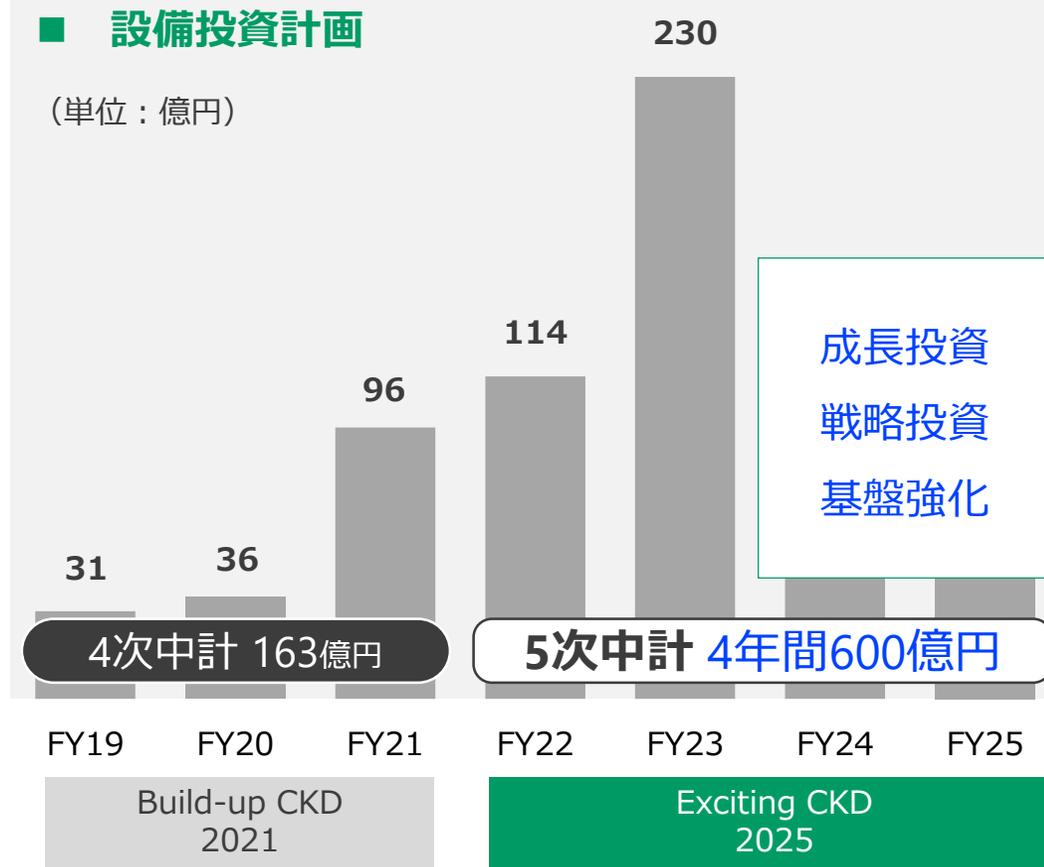
ビジネスモデルの変革、国内外の基幹システム強化
セキュリティ強化

太陽光発電設備、コージェネ設備、省エネ機器の導入
カーボンニュートラルオフセット

最新の設備に更新し生産性向上

設備投資計画

(単位：億円)



持続的成長を支えるESG

非財務定性指標の目標に向けて取組みを着実に推進

■ 非財務定性指標

創出価値	重点テーマ	目 標	主な取組み・実績
環境	気候変動への対応	CO2排出量削減： 2030年度50%削減（売上高原単位目標：2013年度比） 2050年度実質ゼロ TCFD提言への賛同、Scope3の導入検討 環境投資の推進（太陽光発電システム、グリーン電力）	<ul style="list-style-type: none"> CO2排出量削減： 2030年度50%削減に総量目標（2022年度比）を追加 2022年6月 TCFD提言への賛同を表明し、対応開示
	資源循環・廃棄物	水使用量の削減、廃棄物排出量の削減	
社会	多様な人材の活躍	女性管理職比率：2030年度10%以上	<ul style="list-style-type: none"> 女性管理職比率：2022年度末4.0% シニア制度の改定 「わーくはぴねす農園」における障がい者雇用 「健康経営優良法人2023」（大規模法人部門）に認定 有給休暇取得率75.7% 「くるみん」認定 イノベータ・チャレンジ制度の導入
		シニア社員の活躍推進	
	障がい者雇用 就労形態の多様化		
従業員エンゲージメント	健康経営の推進、有給休暇取得率平均65%以上	<ul style="list-style-type: none"> 「健康経営優良法人2023」（大規模法人部門）に認定 有給休暇取得率75.7% 「くるみん」認定 	
	労働安全衛生活動の推進		
研修制度・技能習得支援制度の拡充			
人権尊重の取組み	人権デューデリジェンスの実施		
ガバナンス	グループ管理体制・ リスクマネジメント強化	リスク管理・コンプライアンス・サステナビリティ 各委員会によるモニタリング強化	<ul style="list-style-type: none"> 独立社外取締役の割合 50% コーポレート役員制度の導入
	コーポレート・ガバナンス	経営計画達成に向けた最適な取締役会構成	

持続的成長を支えるESG

持続的な社会の実現に向けて取組みを推進

「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 初選定

TCFD賛同

TCFDへの賛同を表明。提言に従い情報開示に努め、取組み推進



「くるみん」認定

子育てサポートに高い水準で取組む企業として厚生労働省より認定



初認定

「健康経営優良法人2023」認定

健康増進に取り組む企業として経済産業省より認定 4年連続認定



2023

2022

2019

2017

2016

2011

「わーくはびねす農園」における障がい者雇用

障がいをお持ちの方々を農園にて雇用



「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」登録



「あいち女性輝きカンパニー」認定



「愛知ブランド企業」認定



託児所「キッズデザイン賞」受賞



「パーパス」と「ブランドスローガン」



「パーパス」と「ブランドスローガン」の制定

2023年4月 創立80周年を迎え、現行の「企業理念」を「パーパス」に「コーポレートステートメント」を「ブランドスローガン」に改定しました

【パーパス】 【Corporate Purpose】

**自動化技術の探究と共創を続け
健やかな地球環境と豊かな未来を拓きます。**

We will continue to explore and co-create automation technologies to cultivate a healthy global environment and a prosperous future.

【ブランドスローガン】 【Brand Slogan】

Creating Solutions Together

新 理念体系
New Principles Framework



特設ウェブサイトの公開

ブランドスローガンに込めた想いや、私たちの活動をご紹介します



80th ANNIVERSARY

Creating Solutions Together

ブランドスローガンについて →

トップメッセージ →

ブランドムービー →

社史 →

ファクトレポート
「私達の活動」 →



【URL】 <https://www.ckd.co.jp/brand/>



ANNIVERSARY

CKD

Creating Solutions Together

【資料取り扱い上の注意】

将来見通しに関する注意事項

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

数字の処理について

記載された金額は単位未満を四捨五入、比率は円単位で計算した結果を四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。